

05.KLタワー



マレーシアの首都クアラルンプールにある通信塔。ペトロナスツインタワーとならんでクアラルンプールのランドマークとなっている。タワー周辺は森林保護区であるため都心部ではあるがタワー周辺は郊外に似たような気分を感じれる場所だった。

現地では KL タワーと呼ばれており地上部から 421 mの高さがあり、276m の所に展望台が設けられている。通信塔としては東南アジアでは最も高く世界的には第 4 位となっている。タワーにはマレー文化が取り入れられており、基盤部分にはイスラム建築の影響を受けたシンプルな装飾が施されている。

最上部のスカイデッキでは外部で風を感じながらクアラルンプールの街並みやアイコンとなる建物が一望できた。ペトロナスツインタワーや建設途中のムルデカ 118 などに目が行くが、高層ビル群と低層住宅群が両立しており、不思議な都市形成がなされていた。

建設途中の高層ビルが多数あったが、コロナの影響で建設が止まってしまい廃墟の見えるビルもと所々あり気になった。

スカイデッキの下の階は以前までレストランとして運営されていたそうだが、今回上った際には大きな休憩スペースとなっていた。

夜になるとライトアップされ、クアラルンプールの都心部でも特に建物高さがあるので、クアラルンプールのシンボルとして存在していた。